



与謝野町 第41号 平成28年8月10日

議会だより



四地区の防災訓練

議会役員の改選…………… P 2

6月補正予算…………… P 6

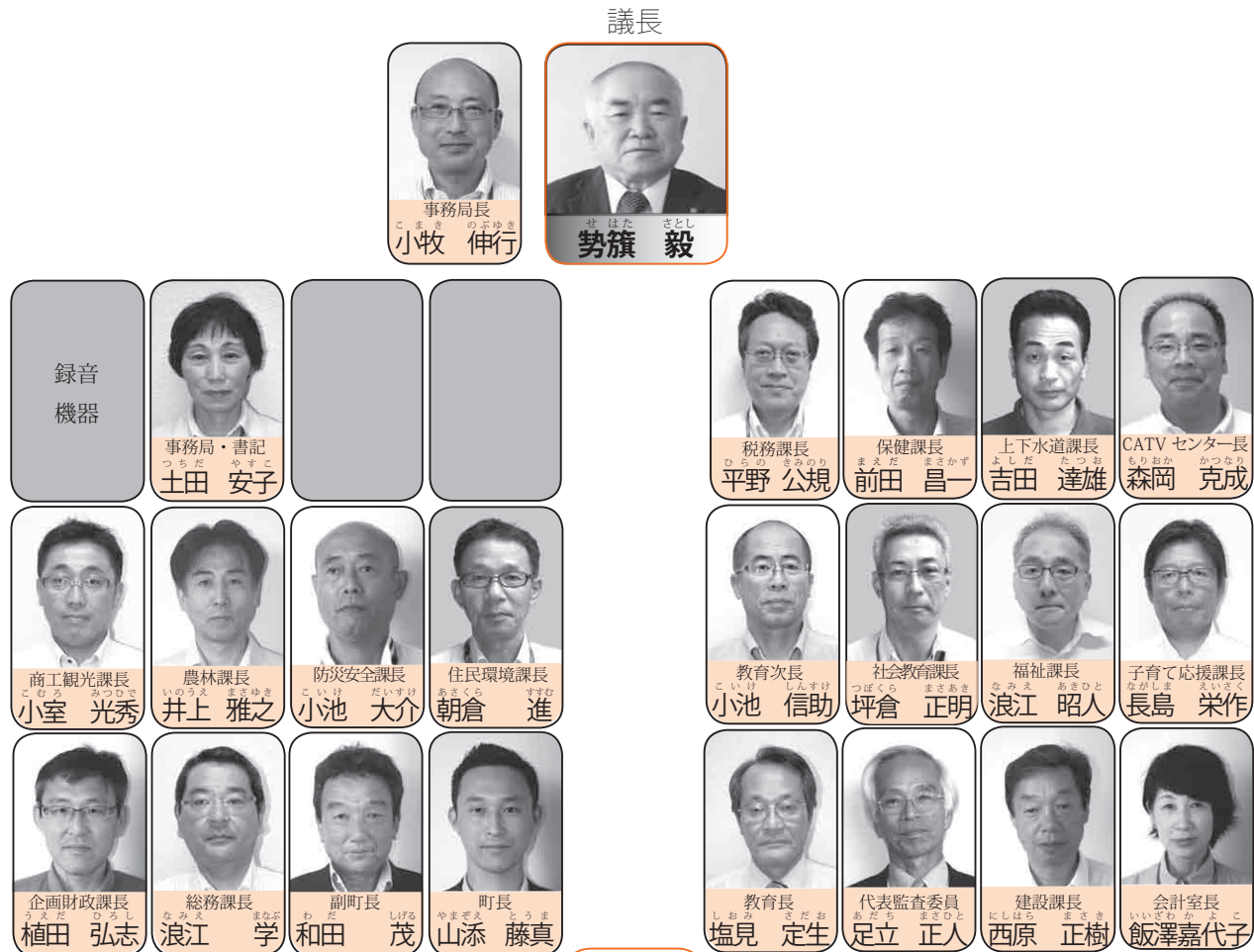
- ・ 過疎地集落支援事業
- ・ 熊本地震支援

条例・その他…………… P 10

一般質問（ここが聞きたい）… P 12

- ・ 14名の議員が質問

与謝野町議会の議場内配置図



答弁席

議員議席

質問席



申し合わせによる改選

新役員構成 決まる

さらに 行動する議会をめざして！



議長 勢旗 毅



副議長 塩見 晋



監査委員 多田 正成

議長あいさつ 『チェック機能の強化を』

勢旗 毅

町民の皆様には、日頃より議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜っておりますこと、心から御礼申し上げます。

このたび、第70回臨時議会におきまして第六代の議長として就任させていただきましたことになりました。与えられた重責を果たすべく円滑で公正な議会運営に向け、誠心誠意努めてまいります。

町では、合併以来10周年を迎え今年には記念式典や今後いかなる行事も計画されています。議会もこれに呼応し「子ども議会」を計画し、小学生、中学生に初議会を体験してもらう主権者教育の一環になればと考

えています。

また町では、次の10年を見据え、あるべき町の実現に向けて、今年3月議会で提案された地方創生に係る「ひと・まち・しごと創生総合戦略」がスピード感をもって積極的に推進される取り組みが始まります。

議会においては、議会の最も重要な役割である監視機能を更に強化する必要があります。そのためには議員一人ひとりが、しっかりと学びながら、より信頼される議会として取り組んでまいります。

どうか今後とも議会に対し、温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

産業建設環境 常任委員会

- 委員長 和田 裕之
- 副委員長 安達 種雄
- 委員 今田 博文
河邊 新太郎
塩見 晋
高岡 伸明
藤田 史郎
渡邊 貫治

総務文教厚生 常任委員会

- 委員長 小牧 義昭
- 副委員長 多田 正成
- 委員 有吉 正
家城 功
伊藤 幸男
江原 英樹
多田 正成
宮崎 有平

議会運営委員会

- 委員長 家城 功
- 副委員長 安達 種雄
- 委員 塩見 晋
多田 正成
宮崎 有平
和田 裕之

委員会の構成

会派の動き

後半2年の会派構成

会派届 4月11日(4会派)→4月18日(議長選後5会派になる)

宮津与謝環境組合

副議長 塩見 晋
議員 今田 博文
多田 正成
和田 裕之

宮津与謝消防組合

議員 家城 功
伊藤 幸男
小牧 義昭
勢 簀 毅
宮崎 有平

与謝野町宮津市中学校組合

議員 家城 功
小牧 義昭
塩見 晋
高岡 伸明
宮崎 有平
渡邊 貫治

去る4月22日、環境組合議会が開かれ、副議長に塩見議員が選ばれました。

京都府後期高齢者医療広域連合

塩見 晋

京都地方税機構

勢 簀 毅

議会広報特別委員会

委員長 伊藤 幸男
副委員長 今田 博文
委員 安達 種雄
家城 功
江原 英樹
塩見 晋
渡邊 貫治



主任 由利 景子



主幹 土田 安子



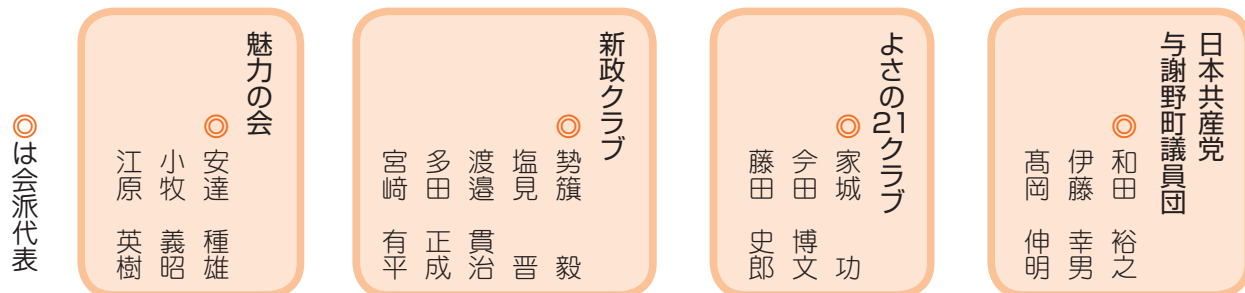
局長 小牧 伸行

議会事務局

解説

議員は4年任期であるが、2年ごとに議会役職を改選する申し合わせがある。今回の会派届きは4月11日で締め切られ、4会派から届け出があった。
4月18日に議長選挙が行われ、勢 簀 議員が当選した。その後、会派代表による副議長、監査委員、各委員長などの人選について話し合いが行なわれていた。
その最中に、新政クラブの5人メンバーが(新)新政クラブ3人(新)与謝野クラブ2人になる新たな会派届け出を行ない、4会派から5会派

になった。
会派代表による選挙の話し合いの最中に、会派を割るような変更は異例なことであり、過去にはこうしたことはなく、協議の下で決められてきた。
今回は、新たな会派届けを受けて、会派代表者会議での協議が行なわれた結果、新政クラブから議長、監査委員、与謝野クラブから副議長が選ばれた。
今後は、役員改選の最中に会派届の変更などということは、慎まなければならぬ。



◎は会派代表
会派とは
この与謝野町議会では、会派(主義)制度を取っています。
会派とは、議会内に結成され

た議員の政策的・同志的集合体のことを言います。
2人以上の議員をもって結成することができ、会派代表は議会の円滑な運営をはかるための議会運営委員会の委員になります。また、予算・決算質疑を会派代表として行なうことができます。



過疎地域集落支援事業1,950万円など 予算総額 135億3,590万円

6月定例会のあらまし

6月定例会は6月3日（23日まで21日間開催した。一般質問は14人の議員が登壇し、理事者の見解を質した。補正予算3件、報告2件、人事案件3件、条例改正2件、条例廃止1件、条例改正1件、工事請負契約3件などの議案が提案され、全議案を可決した。

（単位：万円）

平成28年度議案	補正額	予算総額
一般会計補正予算1号（専決） ※予備費の組み替え	0	135億3,590
一般会計補正予算2号	1億2,590	
国民健康保険会計補正予算1号	30	33億7,170

【主な事業】

熊本地震職員派遣費 379万円、岩滝小学校トイレ改修
命の里事業、マイナンバー関連など
診療所一部改修工事費など

命の里事業の取組は

高岡伸明



地域とふれあうX(エックス)キャンプのメンバー

農林課長 150万円は、滝・金屋の取り組みに対する支援だ。農地を守る政策の中に、平地に比べ不利なため交付されている。それを滝と金屋が担っている。

農林課長 命の里事業の取り組みと役割は。

農林課長 Xキャンプ事業をしている。若い力で地域活性化を目的とし、交流と定住を考えている。

農林課長 命の里事業は滝と金屋だけなのか。

農林課長 地域連携と実施要件があるので、滝と金屋が方針を示した。

農林課長 地域間を超えても可能か。

農林課長 隣接が良いが、連携の合意が必要。

農林課長 命の里事業は、年限があり、毎年延長されている。恒常的な事業として府に申し入れするべきではないか。

農林課長 2つの地域の連携は、ハードルは高いが、継続については、町としても要望している。

岩屋通学路の安全施策

安達種雄



こんなに危険な通学路

固 旧岩屋保育所から東側府道につながる交差点のカーブにおいて、児童の登校時間帯に通勤者の車も多く、かなりのスピードが出ています。特に雨の日には子供たちの傘が風にあおられている。この場所は、府道の幅も特に狭く大変危険である。

すぐに道路改良は困難だと思うが、カーブの西側と東側双方向にドライパーに注意喚起を促す大きな立て看板を立てることが必要だと思うが。

教育次長 通学路安全推進協議会を7月に予定しているので検討する。

ミスに対する改善を

家城 功

固 かえりこども園の建設に係る国からの補助金5千万円が不採択になり、財源が合併特例債（借金）に変更された。なぜ決定でもない財源が予算であるのか非常に疑問。

教育次長 文科省の補助金で京都府との交渉のなかで採択される前提に計上した。申請が遅れたことも影響している結果となり反省している。

固 今回の件も含め各分野での業務上の「ミス」が多すぎる。マンネリ化した業務や気のゆるみが生じた原因と感ずる。改善を。

副町長 「ミス」の段階であり「不祥事」にはなっていないことは幸い。しかし業務の改善を図り「ミス」の無いようする。

固 「ミス」で済んでいるだけ。繰り返しが大きな「不祥事」につながる。徹底した意識改革とペナルティを課すことも必要。

町長 「ミス」の無い職務遂行について、ペナルティも含め再度見直しをし、町民の皆さんから信頼が得られる改善を図りたい。申し訳ない。

水の重要性再認識を

小牧義昭



pHを下げる貯水槽*

固 命の里事業の農業政策面において、生活環境や農業経営の見地から水についての考えは。

農林課長 人が生きる上で最重要物だと考える。

固 石田トンネル工事施工により石田・弓木では水流・流量・水質の変化で不安がある。仮設水路の敷設で、農業者は勿論、生活者も今後の計画や対応が気になるが。

建設課長 京都府は29年度には水路の本工事を進める意向で地域の方に十分説明して理解を求める

固 命の里事業を進める。町も慎重に進める。

固 水質の変化により水苔が生えると聞かす。

建設課長 府に報告し、調査もして頂いている。

固 今後の問題解決（水の枯渇・施設維持等）の組織団体設立の考えは。

建設課長 町として責任ある対応をしたい。

固 集落ネットワーク圏形成事業は、与謝小学校を基幹集落とし農業者が中心だが他地域と関係は。

建設課長 野田川・岩滝の連携を進め農業物流や水の重要性も共有したい。

7 ※ 原稿はすべて本人が提出しています。

* pH(ピーエッチ/ペーハー)とは、酸・アルカリの度合い(強さ)を表す数値。

6 ※ 原稿はすべて本人が提出しています。

町の自主権はどうなる

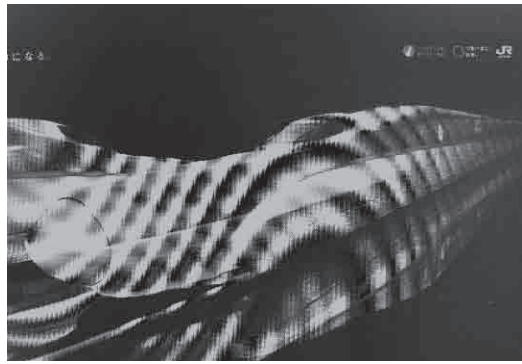
伊藤 幸男

「地方創生はアベノミクスの地方版で、道州制を狙ったもの」という研究者が少なくない。そのためなのか、地方創生の中核都市圏構想によって、全国では各市町の自主権がなくなる事例も出ている。北部連携都市圏構想は違うというが、知事が「フルセット自治体を支援するものではない」との発言もある。

各7市町の自主権や地域性・歴史的な違いなどの独自性は保証されるか、町長は明言できるか。
町長 7市町協議の中で自主権や独自性の尊重の検討もされ、7市町もそれを共有していると、私は思っている。

北陸新幹線延伸問題

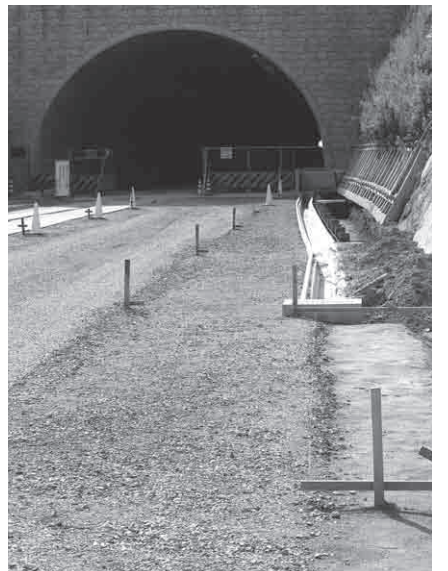
町長 先の議会で十分な審議もせず決議した新幹線延伸問題は、並行従来線の民営化や廃止、重い地元負担、地域経済への悪影響、運賃の大幅値上げ、莫大な建設予算などの大きな難題があるが、
町長 その点や府下市町の情報も充分集めて、判断していくことになる。



JRのホームページより

道路維持補修事業

渡邊 貫治



自動車道トンネル工事現場 (石田)

町長 山陰近畿自動車道(野田川大宮道路)トンネル工事で山から水がなくなり、地権者、事業

組合、地元の方々が大変困っているが。
建設課長 今は、仮排水用水で行っているが、今後永久構造物として、中に埋設を考えている。
町長 町が主体か、府が主体か、取りまとめは誰が行うのか。
建設課長 府の主体工事であり、府が補償工事を行う。当然これからの工事も府が行う。取りまとめは、町でと考えている。
町長 工事費に関して、町の持ち出しはないのか。
建設課長 トンネルができたことによるものなので、当然京都府が行う。

地域支援事業の充実を

和田 裕之

要介護1・2の方のための訪問・通所介護が、29年度から市町村事業である「地域事業」へ移行されるが、受け入れ先であるシルバー人材センターへは、どのような研修内容を、研修時間を想定されているのか。

している。
町長 ヘルパーという専門職であれば、高齢者を常に見られているなかで、認知症などの状態の変化にいち早く気づき、医師などへの引き継ぎも素早く行える。シルバーさんへも、この認知症に関する講座は、非常に重要な部分になってくると考えており、必要ではないか。
福祉課長 指摘の通り、認知症の早期発見は予防にも繋がっていくことにもなる。

福祉課長 20時間の研修で10講座を検討



スポーツを楽しむシルバー(滝グラウンドゴルフ場)

有害鳥獣対策事業

多田 正成



有害獣に荒らされた防護柵

町長 実施隊の事業費が減額。事業に影響は。
農林課長 猟友会員中心の組織。事業への影響はない。防除フェンスの維持管理費に予算を振り替えた。

町長 魅力が必要。今日までも随分経費を掛けた。
商工観光課長 大江山源流を辿る事業で「薪能ワークショップ」やシンポジウムを予定している。

道路維持補修事業

町長 補償金はどの補償か。
建設課長 工事進入路を作るための補償金である。

観光費一般経費

町長 大江山エリア事業費140万円の取組は。
商工観光課長 2市1町の連携で当町を中心に体験型交流事業に取り組む。

反対討論

平成28年度一般会計予算補正2号

伊藤 幸男 (日本共産党与謝野町議員団)

「町の自主権守れるか」

①7市町の北部連携都市圏構想で、町の自主権などの保証が担保できるか疑問がある。②北陸新幹線延伸問題では重大な難題が現時点まだまだ不透明である。③国の介護改悪により市町村への移行に伴う事業実施だが、サービス低下などがあり得るのではという疑問・不安がある。④国の制度とは言え、多額の税金を注ぎ込んできたマイナンバー制度は、国民的な合意が得られていないために、現時点でも加入者は少ないこと。以上の点で、反対討論とする。

岩滝小学校トイレ改修

塩見 晋

町長 7950万円余を掛けて全面的な改修が行われる。多目的トイレも設置されることで便器の数が25%ほど減少している。
教育次長 児童数の減少もあり十分対応できる。
町長 使用していくと尿石がたまり、悪臭のもとになってくる。清潔に使うためには、専門業者の定期的なメンテナンスも必要になると思うが。

旧四辻浄水場跡地鑑定
町長 土地評価の鑑定ができれば、どのような方法で売却をするのか。
総務課長 まず見込額を把握して、財産活用委員会を検討する。
町長 進入路もあり住宅用地としてもいい所なので、公募での販売を願う。
総務課長 元々、民有地を水道施設用地として活用してきた経過も踏まえて検討をする。



改修を待つトイレ

6月定例会

人事案件

教育委員会委員

佐々木 和代
(新任)

熊本地震支援義援金

与謝野町議会から
府町村議会議長会を通じて10万円支援

条例

町立加悦福祉センター

建物の老朽化のため使用禁止。そのため条例の廃止。



加悦福祉センター

町立公民館条例の改正

昼休みなどにも対応できる公民館の職員体制にするため。

財産区管理委員
選任
下山田財産区
管理委員 一名

固定資産評価
審査委員会委員
土田 清司
(再任)

中村 あゆみ
(新任)

4月臨時議会

専決処分

人事案件

固定資産評価員

平野 公規
(税務課長)

町税条例改正

町税条例の改正

- 行政不服審査法の改正に伴う規定の整備
- 一部の手続きにおいて個人番号の利用取扱いを見直す方針が示されたことに伴う町民税の減免等にかかる規定の整備
- 固定資産税の非課税の適用にかかる規定の整備
- 再生可能エネルギー発電設備（償却資産）特例措置の改正
- 熱損失防止改修工事（住宅改修）にかかる減額規定の改正
- たばこ税の改正に伴う経過措置の規定の整備

(単位：万円)

平成27年度議案	補正額	予算総額	
一般会計補正予算5号	1,114	126億6,423	
特別会計	簡易水道補正予算4号	▲156	6億1,516
	下水道補正予算3号	▲982	15億6,159
	介護保険補正予算5号	▲5,160	26億5,044
	国民健康保険補正予算4号	141	33億6,275
	後期高齢者医療補正予算4号	▲1,070	2億6,803

上記の各補正は年度末の調整によるもの

災害に強いまちづくりで安心・安全を!!

7/3 町の防災訓練 議会も災害対策本部を設置(2回目)
—— 昨年6月に議会災害対策本部の設置要綱を制定 ——



議会災害対策本部

さる7月3日、与謝野町では、全町民挙げての防災訓練が実施されました。

災害に備え、町議会でも独自に昨年「議会災害対策本部」を設置し、各区を激励訪問し実情を聞くなど、実践的な訓練を行いました。

2度目の組織訓練でしたが、貴重な体験をしました。今後、一層この体制を強化していきたいと考えています。

町立 認定こども園 工事請負契約 6億3,365万円

国庫補助金5,000万円の不採択により
合併特例債で対応することになった



完成予想図

岩滝幼稚園の跡地に
「かえでこども園」建設

一般質問

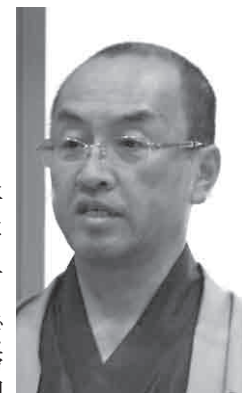
ここが聞きたい

※発言順に掲載しています。



「一般質問」は、定例会のみ行なわれるもので、行政全般にわたる議員主導による質問であります。質問を受ける執行機関・理事者側も共に十分な準備が必要のために、事前通告制となっております。そのほかの議案などに対する「質疑」は、提案された議案に対して疑義を問いたすことです。

問 Y氏は一度に10万円以上を振込んだが、帳簿に記載なし。H氏S氏T氏が振込んだ口座から現金で2万5千円が引出されているが、帳簿には記載がない。現金はどこに行ったのか。



小牧義昭

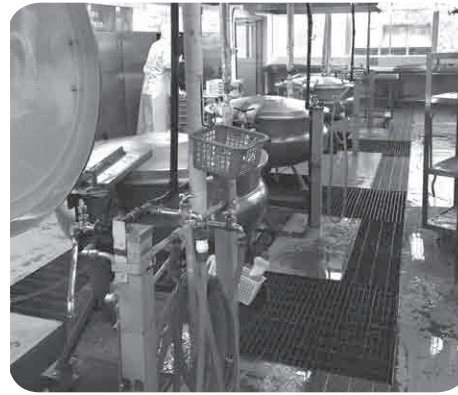
教育次長 平たく言えば滞納、3月末で納入できない保護者があり、入ったことのようにして、本当は正しくはないと思うが帳尻を合わせている。

問 校長が押印し保護者に配られたものが粉飾なら、それではないのか。

教育次長 改善を考える。

Q 岩滝小自校給食費会計の見直しを

A 早期に調査して改善する



町の給食センター

問 給食費情報開示文書に保護者名丸出しの個人情報漏えいだが、責任は。

教育次長 調査報告する。

問 校長預り会計の給食費の決算書では、滞納者はない。ところが、24年3月31日「本来入るべき額10万8千円」と収入に記載がある。教育委員会は4月以降に納入された金額だと回答した。決算書とは相違するが粉飾か。誰が現金を入金したのか。

Q 岩滝小自校給食について町の考えは

A メリット・デメリットがある。現状仕方ない。



岩滝小の調理室

問 自校給食とセンター方式のメリット・デメリットは。

教育次長 自校給食のメリットは、食物アレルギーの個々の対応・食中毒予防やメニューの幅が広い・配送費用が不要。デメリットは、施設整備が多額・人件費・事務・労務・衛生管理が必要。センターは、メリット・デメリットが逆転する。朝食をとらずに登校する子どももいるが。



高岡伸明

教育次長 心が痛む。現実として起きている。給食の存在意義は、非常に大きい。

問 アレルギー体質の子どもの増加しているが、代表的食材は除去している。岩滝小は原則すべてに対応。

教育次長 センターでは、すべての原因食材には対応できない。

町の原発避難計画は

問 原子力災害時の住民避難計画が必要では。

町長 避難計画の策定は必要である。担当課で計画の策定を進めている。

問 橋立中学校や与謝の海支援助学校の子ども達の避難方法は。

防災安全課長 宮津市と同様、家族のもとに帰り、しかるべき指示をする。

問 安定ヨウ素材配布の考えは。

町長 劇薬であるため、二次災害の恐れもある。慎重に考えたい。

Q 町づくりの考えは

A 当町の基本理念は総合計画にある



もっと町民参加を (阿蘇ベイエリア)

問 阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン「みえるまち・海の玄関」には、住民と行政の「協働」「新しい公共」の概念があるなかで、住民の理解と協力が不可欠である。

町長 「みえるまち」に記載されている各プロジェクトの実施については、地域住民自らが積極的にまちづくりを主導する形で、生活空間の現状と未来への思いを共有し互いに協力して進める。主役は地域



渡邊貫治

住民である。

早く町道に認定を

問 都市計画のなかで舗装、側溝もされた道路が認定されていない。

町長 ①幅員が4m以上である②両側の側溝及び舗装が整備され

ている③5戸以上④道路用地及び構造物は無償で提供する⑤関係法令に違反していない⑥民間業者が行う分譲地は、町と協議する。以上①から⑥の事項のいずれにも該当し、町長が認めた場合、道路法第8条第2項に基づき議会の同意を求めることになる。

建設課長 角切りができていないので、認定できない。

Q 介護福祉士の資格取得に町の支援を

A 早急に制度化に向けて取り組む



家城 功

問 町内事業所に所属している介護に携わる方の把握はできているのか。

町長 介護福祉士資格保有者は245人、ヘルパーは205人であり、以前からある施設ではヘルパーが減少傾向にある。

問 国家資格の介護福祉士を取るためには高額な費用が掛かる。介護する方も高齢化が進んでおり、人材育成の観点からも町で支援をすることが重要。

町長 人材の確保・育成は福祉の分野でも必要。早急に制度化に向けて取り組んでいきたい。

文化庁京都移転の記事
問 新聞記事では、町が反対の方向を向いているように感じるが。

町長 報道記事が誤解を招く内容で、当町の思

いと違った形であり、多くの方に不愉快な思いをさせる結果となったことは深くお詫びをしたい。新聞社には抗議もした。

問 当町は歴史と文化の町。大いにこれを活かしたまちづくりを進めるべきであり、そういった取り組みが新聞に取り上げられることが重要では。

町長 全く同感でありそのように心掛けたい。

榊サミットの検証を

問 検証をし、反省を今後に活かすことが大切。こういった事業は一部関係者だけでなく、町が一体となる取り組みが必要。

町長 これから実行委員会を開催し、検証を行う。



町内の介護施設

Q 可燃ごみ減量化の検証・効果は

A 広報で減量化推進の理解と協力をお願いする



藤田史郎

問 減量化40%という高い目標値を掲げ2カ月が経過、その検証・効果は。

町長 平成26年度との比較で、4月横ばい、5月10%減となった。更なる減量化の広報に取り組む。

焼却炉の再稼働は

問 岩滝最終処分場焼却炉でのダイオキシン発生で、4月より停止しており、焼却すべき可燃物が山積されているが。

町長 原因の特定には至っていないが、早く再稼働できるよう努める。

ちよこボラに工夫を

問 昨年7月より美化活動の一環で始まった「ちよこつとボランティア」を知らない方が多い。広報と手続き・受付場所などの工夫をすべきでは。



岩滝最終処分場

町長 美しい環境づくりのため、ポイ捨てごみを拾う取組である。参加しやすいよう協力する。

持ち込み不燃物の基準

問 個人搬入は厳しくキエツクされ、産業廃棄物などとして拒否される。行政の統一見解を求める。

住民環境課長 分別大辞典で処理できないごみ類でも、個人が少量に出す物は受け入れる場合がある。また、各区の溝掃除で出る堆積物は、申請により無料で処理できる。

Q 指定管理者事業評価書の公表は

A ガイドラインに沿った公表は全くできてない



塩見 晋

問 指定管理者制度運用ガイドラインでは、導入後の運用に関する事項を定めた。手続きの公平性と透明性を確保するために、モニタリングをして毎年事業評価書を作成し公表するとなっているが。

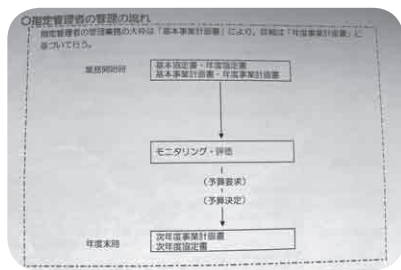
町長 評価書は、指定管理者と所管課の評価の比較により、意識の差を埋め、サービス向上を図ることを目的としているが、全てはできていない。公表は全くできていない。

問 23年度に策定はしたが機能していないように感じる。実状に応じたものに再考する必要がある。

町長 指摘により全体的な是正を考えてみる。

公共施設マネジメント

問 公共施設等総合管理計画は、行政改革推進



モニタリングのフローチャート

委員会へ今年1月に諮問をし、28年度中の策定に向け「基本計画」と「実施計画」の協議をしているが、動きが何も見えない。

町長 町の建築物の80%以上が30年以内で耐用年数を迎えるので、今、議論をしている。町民に直接影響があることなので答申に期待をしている。

問 基本計画の進捗状況を町民に知らせるべきだが、混乱を招かない配慮が必要と考えている。

町長 総務省の策定指針でも「議会や住民に十分な情報提供を」としている。計画はパブリックコメントの必要がある

町長 計画はパブリックコメントの必要がある

Q 財政分析の在り方は

A 厳しい財政を乗り越える新ツールで分析



多田正成

問 現在の国の定める財政健全化「4指標」をみると、当町の財政状況の厳しさは解るが、基準財政需要額に対し、適正な財源、事業が執行されているか新たな分析が必要では。

町長 27年度に固定資産台帳を整備し、28年度で財務諸表を試作、財政分析のツールとして活用できるように進めている。

問 普通交付税が今年度から削減される。当然財政需要額に影響するが、財政需要の見積もりは誰がするのか。

企画財政課長

個別算定経費、公債費などを基準に実績も含め積算する。時代の变化、環境の変化で財政需要額は変



どうなる町の財政

わる。そのために基準財政需要額と決算との比較で財源の流れを分析し、変化を国などへ訴え、交渉することが必要それが政治ではないのか。

副町長 そう言ったことも必要だと思うが、個々ではなく町村会や首長会などで声を上げることが必要である。

問 当町は留保財源が少なく、そのうえ交付税が削減すると、基準財政需要額が小さくなり、今後の財源確保が更に厳しいが。

副町長 指摘の通り、そのことか今後の課題であり慎重に運営する。

町長 議論のなかで事業分析が必要だと感じ、行革と合わせ取り組んでいく。

Q 与謝野町の行政評価の現状は

A 総合計画の達成状況を確証、検証している



役場庁舎の受付

問 施策、事務事業の自己点検と情報開示までの行政評価作業の現状は。

町長 与謝野ベンチマークにより、達成状況を確認、検証して町のホームページで公表しているが、第二次総合計画を機に与謝野町版の評価手法を導入したい。

山添町政の自己評価は

問 山添町政過去2年の実績、施策の妥当性、達成度、町民の満足度は。

町長 26年度は町の将来に向けた可能性を見出した。27年度はそれを飛躍させ、うねりを生み出す年として阿蘇ベイエリア拠点構想とホップ栽培を中心に産業振興に努め町の再構築を図り、確実に良い方向に向かっていると感じる。



江原英樹

どうする町の28年度は

問 28年度は、政府が地方創生を唱える中、町はPDCAの視点から計画実行への年である。施策事業の具体的な事前目標設定値は。

町長 28年度予算編成で言った通り「新しい視点での産業振興」「未来を見据えた教育施策」の2点を最重要政策として位置づけ、進めてきた与謝野ブランド戦略推進チームを中心に官民一体となって事業の展開を図る。

教育は、町の教育大綱を踏まえ、創造的に未来を開拓する人材を育てる教育を推進する。

続けたい。

問 具体的な展望がなければ、第二期検討委員会は無理だ。

町長 妥当性についても考えたい。

ブランドの確立を

問 京の豆っこ米は自然循環型農業の推進役だ。まちの課題であるブランドの確立に向けて、今こそ戦略が必要だ。

町長 与謝野ブランド戦略推進プロジェクトチームで取り組む。ホップの試験栽培は今後どうなるのか。

町長 栽培体系の確立が重要になる。



岩滝本庁舎

Q 第二期庁舎検討委員会は時期尚早

A 立ち上げに向け検討を深めたい

問 3年前に庁舎検討委員会の答申がされた。どう受け止めているのか。

町長 「総合庁舎化は経費をかけてまでは必要ないが、必須だとの結論を尊重する」を踏まえて協議を進めて行きたい。

問 第二期庁舎検討委員会を立ち上げて、どんな議論をするのか。

町長 中長期的な将来構想を議論していく。

問 町長のはっきりした目標がないのに、展望が示せるのか。

町長 庁舎基金条例で長期展望を示したが、中期的な議論はできない。

問 重要な政治課題である。職員との意思疎通はできているのか。

町長 庁舎内の、まちづくり本部会で議論してきたが、今後も継続



今田博文

Q 災害応援協定の取り組みは

A 毎年情報交換、意見交換をしている



地域で取り組む防災訓練 (山田小学校)

問 地震・台風・大雨など大規模災害を被った自治体の行政サービスや復興活動を支援する自治体の災害時相互応援協定や、日常の情報交換・交流などが大事であるが状況は。

町長 行政機関との間で8つの協定を締結している。福知山市・豊岡市で単独相互応援協定をはじめ、綾部市以北の市町と消防組合間で相互

互応援協定を締結している。また、三重県明和町と島根県津和野町との3町間協定や奈良県斑鳩町との2町間協定も含んでいる。

特に、明和町と津和野町とは、毎年防災担当者による情報交換、意見交換をしている。また、民間団体と14協定を締結している。



河邊新太郎

問 高齢者、要援護者の避難体制の整備充実は。

町長 防災計画の中でも、要配慮者のために福祉避難所を指定することになっている。町内の介護施設など17カ所を指定している。

問 小中学校での防災教育の取り組みは。

町長 児童生徒には、授業時間や休み時間を活用し、様々な災害などを想定した訓練や対応の仕方を体験や学習を通して身につけている。また警報発令時には、保護者・家庭と情報を共有する中で、児童生徒の命と安全を第一に状況を判断し対応している。

Q 人口減少の対策は

A 人のつながりを大切にしたい町づくり



にぎわう阿蘇シーサイド

問 我が国の社会人口構成が大きく変化する中で、多産・多死から医学の進歩で、一時的な人口増になったが、今は、少産・少死の時代になった。今後、団塊世代の方が80歳から90歳の平均寿命を迎える20年後には、急激な人口減少となる。核

家族化が進み共働きの家庭が多い今日、出生率が上がる要因がない。当町も昨年2万3千人を割り、ちなみに、今年4月までの1年間に349



安達種雄

人の減少である。人口増に向け、町独自の創意と工夫の施策が必要と思うが。

町長 人口問題で町独自の取り組みは人材育成で、少子高齢化が進んでも地域が輝き続け、持続可能な町づくりを考え、人のつながりを大切に人育てることが最重要

であると認識している。「まちへの流れをつくる」では、移住・定住施策により短期的な効果を狙った施策を展開していく。町独自施策では、空き家をリノベーションして、お試し移住の体験ができる事業も考えている。これらにより、人口減少を少しでも抑制したい。

Q アベノミクスで経済は良くなったか

A 本町のような地方では効果はまだ限定的だ

問 アベノミクスが始まり、3年半経過した。当町では、住民の暮らしや、中小業者の営業が良くなったとの声を聞かない。

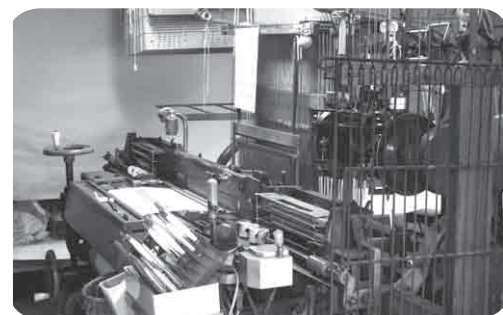
町長 大企業が利益を増やせば、国民所得も増え、経済の好循環が生まれ、経済成長するという理論で、トリクルダウンと言われる根本的な政策も破たんしたと言わざるを得ない。消費税が8%に引き上げられ、日本経済の6割を占める個人消費は8兆円落ち込み、史上初めて2年連続の下落を記録した。

一方、一部の大企業は空前の利益をあげ、途方もない「貧富の格差」が広がり、耐え難いものだ。この間、大企業や富裕層が、租税回避地の「タックスヘイブン」を使った税逃れも明らかとなった。

このように厳しい経済のなか町民の暮らしや営業、福祉



和田裕之



地域への波及効果は…?

町長 アベノミクスで業績をあげた企業もあるが、本町のような地方の町では限定的だ。今後、町としても経済的な成長を実現するために引き続き努力を重ねる。OECD報告でも、過去30年で加盟諸国の大半でトリクルダウンは起こらず、裕福層と貧困層の格差が最大になったと指摘されている。

や社会保障を守り、地域経済を発展させるのが強く問われており、町の責務だ。アベノミクスで経済が良くなっているとの認識か。



2年間「議会だより」の編集を担当します
議会広報委員より

賛否の分かれた議案

○印は賛成 ×印は反対

(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案成否を決定します)

議員名	賛否		有吉 正	高岡 伸明	河邊新太郎	小牧 義昭	安達 種雄	江原 英樹	和田 裕之	伊藤 幸男	藤田 史郎	宮崎 有平	渡邊 貫治	多田 正成	今田 博文	家城 功	塩見 晋	勢嶺 毅	
	賛成	反対																	
28年度一般会計補正予算第2号	12	3	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-

Q 女性の視点からの防災対策の強化を

A 防災計画・対策には女性の参画が重要である

問 防災対策に女性の視点は反映されているのか。

町長 避難所運営に留まらず、女性の視点を活かした防災計画・対策になるよう努めている。

問 防災組織に、役員としての女性の配置や消防団への加入が必要であり、防災活動の推進に、女性リーダーの養成、人材育成が必要と思うが。

町長 消防団において、女性のみで構成される「ひまわりふれあい隊」として予防活動をしており、地域内における防災リーダーとしての活躍も期待している。

問 児童生徒の体力向上は当町の児童生徒の体格と体力の向上は。

教育長 当町の小学生の体格は、府や全国平均値と比べると、上回って



宮崎有平



活躍するひまわりふれあい隊

問 中学生の男子も上回っている学年が多いが、女子は平均並みか若干下回っている。体力は、全国平均と比較すると、小学校では20mシャトルランと50m走は全学年で全国平均を上回っている。反対に握力・長坐体前屈・反復横飛びでは、全学年で下回る。中学校でも同じ結果が出ている。体力の低下の原因と対策は。

教育長 原因は、社会環境や生活様式の変化等により、運動機会の減少が影響している。家庭や地域の関係機関と連携した取り組みが重要と考える。

Q 社会保障改悪の下、どうするのか

A できるだけニーズに応じて対応していく

問 アベノミクスによる貧困と格差が広がるなか、社会保障の給付削減や負担増など連続改悪、加えて今後の改悪も計画しており、あまりにも異常である。①要支援1! 2の方の訪問介護などのサービスが保険対象から外された。②要介護1・2の方の生活援助サービスの「保険外」。③医療でも、全国医療機関の「経済的理由による手遅れ死亡事例調査」では、医療費を払えず「手遅れ死」63人も。低所得層が多い本町ではどうする。

町長 ①来年度から実施予定で、シルバー人材センター職員の2回程度の研修を受けた上で、緩和型サービスとして委託したい。②軽介護・要支援1・2の生活支援などは原則自己負担となったが、現時点国府からの連絡はない。③27年度に生活困窮者



伊藤幸男



元気で長生き

問 自立支援法ができ、窓口で対応し、医療費軽減や減免、無料定額診療を行っている。医療機関の紹介、生活保護などの相談も受けている。

政府、情報公開はせず

問 安倍政権は経済に重大な影響を与えるTPP推進の立場だ。2月、参加国代表が署名した。内容が国民に極一部しか明らかになっていないが。

町長 私は反対の立場だが、対応は進めている。膨大な資料で、国民説明は充分とは言えない。



まちの宝 子どもページ

かえでこども園の紹介

かえでこども園は幼保連携型認定こども園として、平成28年4月より開園されました。

園児数は3歳児から5歳児111名、未満児38名、合わせて149名の子どもが通園しています。

岩滝の地に新しく誕生したこども園では、幼稚園と保育所の機能を合わせ持ち、その良さがうまく融合して、子どもや保護者の皆さんにとっても有益な施設となるよう日々試行錯誤を繰り返しながら教育・保育を進めているところです。

現在は旧岩滝保育所で生活していますが、子ども達は元気に築山から水を流して水路を伸ばして砂場までつなげたり、砂場で工夫しながら協力しあって泥んこ遊びを楽しんだりしています。

また、光る泥団子にも挑戦し、時間をかけてピカピカに磨き上げる姿に思わず「やったね！」と感動を共にする毎日です。そんな姿を異年齢同士の交流の中から学んでいく子ども達です。

本園では、このような園での活動を重視すると共に、地域の自然や人とのかかわりを生かした生活体験から「心情」「意欲」「態度」などの内面性を培い、自我の形成と共に自分を取りまく様々な人との出会いの中で生きる力の基礎を育みたいと思います。

健康な心と体を育て、幼児一人一人が本来持っているよさや可能性が引き出され、様々な体験を通して学びながら子ども達の笑顔や成長がたくさん見られることを願っています。



やっほー！

小さい友達も
お外で遊ばっ
大せきき！



気持ち
いいなあ

江陽中学校の紹介

江陽中学校では、「中学校の部活動を体験することにより、入学に向けての心構えや意識を確かなものにする」とともに、「入学の準備を進めるための一助とする」という目的で、今年度から校区小学校（三河内小学校・市場小学校・山田小学校・石川小学校）の6年生児童を対象に部活動体験を年2回計画しました。

第一回目を6月15日（水）に実施し、100名の児童が事前に希望した部活動に緊張しながらも一生懸命、体験に臨んでいました。



第二回目は11月30日（水）を予定しています。第1回目の課題を改善し、より有意義な部活動体験にしていきたいと考えています。